



## 2021年度 みやぎっ子『食』・『農』くらぶ事業計画

農作業活動を通じた 親子で学べる食育活動 in 宮城野区岡田・荒浜



項目	内容
団体名	みやぎっ子『食』・『農』くらぶ
団体設立日	2016年12月1日
団体所在地	〒983-0003 宮城県仙台市宮城野区岡田新浜浦通西30番3
電話	090-5181-9131
メール	miyagi.ko.syokunou@gmail.com
ホームページ	<a href="https://miyagi-ko.amebaownd.com/">https://miyagi-ko.amebaownd.com/</a>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供が安全に、楽しく活動できる『農作業体験の場』の提供、企画立案。</li> <li>・『農業』と『食』を合わせた食育活動の開催。</li> <li>・地元住民との交流イベントや茶話会などの『繋がり』を生む活動。</li> <li>・活動内容報告や参加者拡大のためのPRイベントの実施。</li> </ul>
代表者	三浦ルミ
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明成高校</li> <li>・高砂市民センター</li> <li>・宮城野親子料理プロジェクト</li> </ul>
団体登録会員数	68名

### 代表者プロフィール

三浦 ルミ

平成20年から、仙台市の障害者関連団体にて講師として活動を実施。東日本大震災の被災後、今まで活動に参加していた多くの方が強制的な移転や精神ケアの必要性が高まり、活動自体ができない状況になったことをきっかけに、『みんなが集まれる場』を作る活動を始める。

津波被災地区を担当する市民センターさんとの共同企画をきっかけに、宮城野区岡田新浜地区にて農作業体験活動ができる環境を作る。地元の町内会や農家さんと共同し仙台市内の多くの子ども達とその家族に、農育・食育の場を提供しています!!



## 1 運営の基本方針

農作業体験を通して、親子の関係性を豊かなものとし、同年代の友達との活動の中で、子供たちの健全育成や親子の絆の構築を目指します。

特に、宮城県仙台市を中心とした『子育て』に関わる個人並びに団体の、相互交流を促進する非営利の活動を行い、主に農作業体験活動を通して、こどもの『食』と『農』に関する知識を深め、親子の触れ合いによる家族の絆の構築を目指します。

もう1つの柱として、東日本大震災で被災した親子・住民を対象に料理教室や料理に関するイベント活動を開催し、子供たちの心のケアおよび環境の変化を余儀なくされた子供・家族が繋がりをもち、今後の生活基盤の構築や、交流を図る場を提供します。

また、既存の地域住民と被災により転居、引っ越し等で環境の変わった家族の間を繋ぐための手段として、地域の理解者やボランティアスタッフとの交流を図り、子供たちがより地域に溶け込める環境の構築を目指します。

今年度は、上記2つの基本方針に加え、『地域まちづくりへの参加』をもう1つの柱とします。その手段として、『農作業体験』『食育イベント』以外に、活動地域の住民と多くふれあい、活動地区の福祉力が向上される取り組みなどの企画も加え、参加家族の総合的な食育能力の向上と、地域住民との交流を深める3つの基本方針をもとに活動を行います。

## 2 支援目標

参加者の人格を尊重し、それぞれの能力や特性に配慮して、一人ひとりが充実した活動となるようなサポート支援を実施します。

親子が触れ合いを持ちながら共同して活動できる場、同年代の子供たちと共に活動し楽しみを共有できる場、危険行為や社会ルールを学べる場となるような計画、環境づくりをします。

他者との交流を通し、子供を持つ親の不安や悩みを話し合える場、子供の成長を感じることでできる場、新たな人間関係の構築の場を目指します。

特に、母親の交流や日々の悩みを解決するための支援、心身支援、問題解決が可能となる交流・繋がりが図れるための支援に力を入れていきます。

## 3 対象者

おもに、宮城県内の親子対象とします。

ボランティアスタッフや、運営スタッフは特段制限を設けず、会の趣旨に賛同してくれる方すべてを対象者とします。

#### 4 開催回数

農作業体験活動は、年に10回程度開催します。また、収穫した野菜や米を使った食育料理教室を年に3回程度実施します。

※申し込みが多く全員を受け入れることが難しい企画等は、開催回数を増やし対応します。

その他の開催は、参加申し込みの状況などにより、不定期開催等の検討もし、開催内容が確定した都度、会員・および希望者、地域の子供たちへ開催内容を通知します。

主活動以外に、円滑な活動の進め方、スタッフの配慮点の確認、上手な支援を学ぶ研修、参加者同士の交流企画などを数回設けます。

#### 5 開催場所

農作業体験活動は、仙台市宮城野区沿岸地区を主活動地とし、特に、宮城野区新浜地区で活動を行います。また、食育料理教室は仙台市内の町内会集会所、市民センター、その他公共施設等の『調理室』を所有する施設を中心に開催します。

会場予約に制限等があるため、会場は特定しないものとし、仙台市内（特に宮城野区）を中心に開催するものとします。また、今年度は、『地域まちづくりへの参加』に重点を置くため、宮城野区沿岸部（特に新浜地区）での活動回数を増やし、参加者と、活動地区住民の交流を深め、地域づくりに寄与できるよう努めます。

#### 6 支援者・サポーター

活動において、農作業や料理を教える『講師』の他、活動が円滑に進むよう『サポートスタッフ』を配置します。サポートスタッフは原則としてボランティア登録されている方に依頼し、農作業サポート、テーブルサポート、事務サポート、広報・記録撮影等の業務をサポートしてもらいます。

ボランティアスタッフや、活動にご協力いただける方を、仙台市内のボランティアセンターや、インターネットの募集サイト等を活用し、多くの方に参加いただける体制づくりをします。

## 7 活動内容

活動内容の詳細は以下の通りとします。

=農作業活動を中心とした農業企画の例 =

9時30分～	集合・受付・注意事項説明・作業内容の説明
10時～	農作業体験活動開始 ・講師からの作業手順の説明 ・各家族での農作業体験 ・講師、ボランティアスタッフによるアドバイス ・参加者の活動記録
12時～	昼食 ・農作業で植え付けや、収穫した野菜・米などを使い、食育が推進される昼食、試食
13時～	午後作業（残りの作業等）、片付け、清掃 次回の開催内容の連絡 ・次回開催の教室内容の確認
14時～	本日のまとめ ・活動内容のおさらい、解散

=調理活動を中心とした食育企画の例 =

9時30分～	集合・受付・注意事項説明・グループ、座席発表
10時～	調理活動開始 ・講師からの調理手順の説明 ・各グループにての調理 ・講師、ボランティアスタッフによるアドバイス ・参加者の活動記録
12時～	昼食 ・調理した料理を全員で試食
13時～	片付け、清掃 ・テーブルごとに片付け 次回の開催内容の連絡 ・次回開催の教室内容の確認
14時～	本日のまとめ ・活動内容のおさらい、食育タイムの実施 解散

※サポーター、ボランティアスタッフは参加者集合時間前に集まり、当日の流れや支援方針、重点留意事項についてを確認します。

また、参加者解散後、会場の片付け・清掃をお手伝いいただきます。

## 8 参加者の募集

活動に参加できるメンバーは基本的に事前に会員登録した『会員』とします。※一般公募もするため、会員登録せず、新規で参加する方の受け入れもします。

毎年4月に基本計画を決定し、基本計画に沿って作業・教室内容を検討します。教室及びイベントは、1か月前から、次月の開催内容を、『講師』や『実施先』、『季節性』などを考慮し検討し、関係機関との調整のうえ決定します。教室内容が決定後、登録している会員の方へ教室内容を情報配信するとともに、ホームページやチラシ等を使い広報し、新規の希望者も同時に募集をします。

参加希望者が定員を超える場合は、抽選をすることとし、その旨を募集の際に報告し、参加者からの同意を得ます。

## 9 会費・費用・会計報告

年会費、会の維持費は無料とします。活動・教室の1回ごとに参加費を徴収し、その中で、材料費、会場費、印刷費、雑費、ボランティア交通費等を支出するものとします。

不足や繰越金に関しては、帳簿で管理し、1年を1単位として会計スタッフによる報告を行います。

参加費は都度の徴収を基本とし、徴収した参加費に関しては利益を求めないものとします。全額を活動・教室運営及び運営に付随する行事等で使用するものとします。

東日本大震災時に特定の被害を受け、市町村の発行する『罹災証明』を受けた世帯・家族に対しては、参加費の減免措置・減額等を行えるものとし、その額や内容に関しては、開催される教室の内容により都度決定し、参加者へ通知・実施するものとします。

会計年度は、1月1日～12月31日までとします。

## 10 会員の状況

77名（令和3年1月1日時点）

## 11 スタッフ構成

代表者	副代表	運営員	会計 (兼務)	ボランティア スタッフ(常時登録)	計
1名	1名	5名	1名	9名	16名

不定期参加者も含む

## 12 家族・子供の継続的サポートの取り組みに関して

- (1)インターネットやSNS を利用し定期的な会の情報を発信します。(2)教室時、電話やメール、SNS 等で参加者との定期的な連絡をとります。  
(3)教室以外の家族参加行事(芋煮会・果物狩りなど)【年2回程度】を開催します。(4)希望者にはサポートスタッフ(栄養士・薬剤師・保育士等)による相談を行います。

## 13 年間教室日数

農作業体験を10回、食育活動3回を年間の基本活動として設定します。

活動場所は、宮城野区岡田の農地を中心に行います。活動内容、募集人数、日時に関しては、新型コロナウイルスの流行状況や、スタッフ・ボランティアの参加の可能性、罹患リスク等を総合的に判断し適宜決定します。

## 14 会場に関して

行事や、イベントの内容を開催後、開催内容に適した場所で、子供たちの安全が確保できる施設等を利用します。

特に、沿岸部での農作業体験では、災害時の緊急避難先などを考慮し、参加家族が、安全に活動できる場所とします。

料理教室・食育イベントでは、協力団体(特に仙台市高砂市民センター)の施設を利用し、地域住民の参加しやすい場所、協力団体から、支援・サポートを得やすい場所を利用します。

## 15 運営スタッフの確保・協力団体を増やす取り組みに関して

会の運営を円滑に進めるため、運営スタッフの確保に努めます。仙台市のボランティアセンターへの募集を定期的に進め必要人材の確保をするほか、インターネット等を活用し、多くの市民から協力をうけられるよう努めます。食育活動等に関しては、専門性の高い、朴沢学園明成高校の調理科関係者の方や、宮城野親子で料理プロジェクトにも協力を仰ぎ、より食育が推進される企画運営となるよう努めます。

## 16 怪我・事故に関する備えに関して

農作業体験や食育活動実施の際の怪我・事故にそなえ『傷害保険』に加入するものとします。代表者およびプロジェクト名にて契約し、怪我・事故にもれなく補償できる保険となるように計画するとともに、被害が出た場合に関しては、参加者へ誠意を持って対応するよう努めます。

## 17 定期会議の開催について

プロジェクトの進捗状況、目的の達成状況、参加者の満足度、スタッフの状況、その他プロジェクトの不備点・改善点を検討する場を定期的に設けます。

また、スタッフの交流行事や親睦会を開催し、スタッフの確保に努めるとともに、円滑な活動になるための計画をしていきます。

## 18 活動における本年度の重要点（新型コロナウイルス対策）

### ①活動の参加に関して

・参加当日及び、参加日1週間以内に発熱や咳、体調不良、新型コロナウイルス感染者と接触の可能性があった場合などは、活動参加を見合わせていただくよう募集時から広報し、当日の対策も徹底します。

### ②検温と消毒、マスクの着用に関して

・参加日当日は、必ず体温測定を実施の上参加してもらいます。※受付セットに非接触型体温計を用意、計測を忘れた方に、必ず計測後活動開始とさせていただきます。また、作業開始前と、作業の休憩、食事前にはアルコール等の消毒剤で手指消毒を徹底していただきます。

・活動の参加前から必ずマスクを着用していただきます。※体温調整等でマスクを外す場合などは人が密集していないところで行います。

### ③活動中の距離の確保

・参加者、ボランティアスタッフとの適切な距離を保ちながら作業が行えるように徹底します。人が密になる場面がある場合は、活動の順番を変えたり、順番に作業してもらえるように促して十分な距離の確保に努めます。

・参加者の制限を行うため昨年度より少ない人数での活動を予定しています。④活動後体調が悪くなった場合又は感染した場合

・イベント等の活動後、体調が悪くなった場合や感染が判明した場合は速やかに代表者へ報告をしていただく体制を構築します。また、参加者及び、スタッフ等に感染症が出た場合は、当日参加していた全員へ速やかに連絡いたします。

⑤その他新型コロナウイルスに対する対策が追加された場合や活動方針が変更となった場合、活動自体を中止・自粛する場合はLINEやメール等にて連絡します。